

福岡医発第 3019 号 (地)

平成 25 年 3 月 29 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成 25 年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

今般、厚生労働省健康局がん対策・健康推進課より、独立行政法人国立がん研究センター（以下「国立がん研究センター」という。）における研修を有効に活用いただけるよう、別添のとおり、上記研修等について対象者ごとにその種類を分類するとともに、研修計画（予定）に係る事務連絡が発出された旨、福岡県保健医療介護部健康増進課より通知がありましたのでご連絡申し上げます。つきましては、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、都道府県の推薦の必要がない研修につきましては、直接、国立がん研究センターにお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

【照会先】

独立行政法人国立がん研究センター

総務部総務課管理室 がん対策情報センター事務班

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL : 03-3542-2511 (2506)

(県の推薦が必要な研修については)

福岡県保健医療介護部健康増進課保健事業係

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

TEL : 092-643-3270

公 印 省 略

24健第535号-13

平成25年3月25日

福岡県医師会会長
福岡県病院協会会長
福岡県私設病院協会会長 } 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課長
(保健事業係)

平成25年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

本県の保健医療行政の推進につきましては、御理解・御協力を賜り、感謝いたします。

さて、標記について、厚生労働省より研修計画（予定）に係る事務連絡がありましたので、貴会員に対して周知していただきますようお願いいたします。

なお、都道府県の推薦の必要がない研修につきましては、直接国立がん研究センターにお問い合わせいただきますようよろしくお願いいたします。

【 照会先 】

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

独立行政法人国立がん研究センター

総務部総務課管理室

がん対策情報センター事務班

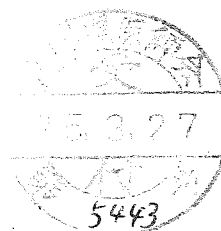
TEL 03-3542-2511 (2506)

(県の推薦が必要な研修については)

〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7

福岡県保健医療介護部健康増進課保健事業係

TEL 092-643-3270





事 務 連 絡
平成25年3月22日

各都道府県がん対策主管部局御中

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課

平成25年度に独立行政法人国立がん研究センターが実施する
がん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

がん対策の推進につきましては、かねてよりご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、独立行政法人国立がん研究センター（以下「国立がん研究センター」という。）における研修を有効活用いただけるよう、別添のとおり、上記研修等について、対象者ごとにその種類を分類するとともに、都道府県の推薦など必要事項等を整理しましたので、貴管下のがん診療連携拠点病院その他の医療機関への周知方よろしくお取り計らい願います。

(別 添)

平成25年度の国立がん研究センターにおけるがん診療に携わる
医療従事者を対象とした研修について

1 研修の種類

(1) 医師

- ① 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修
- ② 精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修

(2) 看護師

- ① がん看護研修企画・指導者研修
- ② がん看護研修企画・指導者研修 フォローアップ研修
- ③ がん看護専門分野（指導者）講義研修
 - ア がん化学療法看護コース
 - イ 緩和ケアコース
 - ウ 放射線療法看護コース
 - エ 退院支援・在宅療法支援コース
- ④ がん看護専門分野（指導者）実地研修
 - ア がん化学療法看護コース
 - イ 造血幹細胞移植看護コース
 - ウ 緩和ケアコース
 - エ 放射線療法看護コース
- ⑤ がん看護専門分野（指導者）実地研修 フォローアップ研修
- ⑥ がん看護領域認定看護師サポート研修（指導者）

(3) チーム

- ① がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム（身体症状を担当する医師、精神症状を担当する医師、看護師、薬剤師）基礎研修
- ② がん化学療法医療チーム（医師、薬剤師、看護師、MSW）養成にかかる指導者研修

(4) 診療放射線技師

- ① がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修
 - ア 治療コース
 - イ 診断コース

(5) 臨床検査技師

- ① がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修
 - ア 細胞診コース
 - イ 超音波コース

(6) 相談支援センター相談員

- ① 相談支援センター相談員基礎研修(1)
- ② 相談支援センター相談員基礎研修(2)
- ③ 相談支援センター相談員基礎研修(3)
- ④ 相談支援センター相談員指導者研修
- ⑤ 相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修

(7) がん登録実務者

- ① 院内がん登録実務初級者研修
- ② 院内がん登録実務初級修了者研修
- ③ 院内がん登録実務中級者研修
- ④ 院内がん登録実務指導者研修
- ⑥ 院内がん登録実務指導者修了者研修
- ⑦ 院内がん登録実務指導者継続研修
- ⑧ 院内がん登録実務導入研修
- ⑨ 地域がん登録行政担当者向け研修
- ⑩ 地域がん登録実務者研修

(8) 薬剤師

- ① 抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)講義研修
- ② 抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)実技研修

2 研修計画等

平成25年度の研修計画は別紙のとおりです。

なお、各研修の開催日時、申込の締切期日などの詳細については、後日、都道府県あてに情報提供いたします。

3 研修の申込、各都道府県の推薦、受講者の選定・通知、経費

(1) 研修の申込

研修に参加を希望される場合には、必要書類を作成の上、各医療機関から国立がん研究センターへ直接申し込むこととなります。

<照会先>

〒104-0045

東京都中央区築地 5-1-1

独立行政法人国立がん研究センター

総務部総務課管理室 がん対策情報センター事務班

TEL03-3542-2511 (2506) FAX 03-3442-2545

e-mail : kenshu-contact@ml.res.ncc.go.jp

※ 研修の申込を行った者から研修受講者を選定し、国立がん研究センターより所属施設長及び受講者に通知

(2) 都道府県の推薦

当面、下記の研修については、以下の理由により各都道府県からの推薦が申込の前提となりますので、特段の御配慮をお願いいたします。

- 1) がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修については、研修修了後、各都道府県におけるがん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の医療レベル向上に寄与し、がん医療均てん化の一助とすることを目的とするため。
- 2) 院内がん登録実務指導者研修会については、初級者研修や各地域の院内がん登録に関して指導的に関われるがん登録実務指導者の育成することを目的とするため
- 3) 抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師（指導者）講義研修については、研修修了後、各都道府県内のがん診療連携拠点病院における薬剤師の基盤的知識および無菌調製技術水準の向上に寄与し、実技研修については地域において抗がん剤取扱いについて指導的にかかわれる人材を育成することによってがん医療均てん化の一助とすることを目的とするため。
- 4) 相談支援センター相談員指導者研修および相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修については、各地域における相談員のための継続教育に指導的に関われる人材の養成を目的とするため。

(3) 経費

受講料は無料ですが、受講地への旅費・滞在費等は受講者側の負担となります。ただし、がん診療連携拠点病院の医療従事者が下記の研修を受講する場合で、研修受講後に各都道府県内で研修会を開催するなど、地域のがん医療を牽引していく計画がある場合には、がん診療連携拠点病院機能強化事業を活用できるものとします。

- 1) 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修
- 2) 精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修
- 3) がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修
- 4) がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修

ア) 治療コース

- イ) 診断コース
- 5) がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修
 - ア) 細胞診コース
 - イ) 超音波コース
- 6) がん看護研修企画・指導者研修
- 7) がん看護研修企画・指導者研修 フォローアップ研修
- 8) がん看護専門分野（指導者）講義研修
 - ア) がん化学療法看護コース
 - イ) 緩和ケアコース
 - ウ) 放射線療法看護コース
 - エ) 退院支援・在宅療法支援コース
- 9) がん看護専門分野（指導者）実地研修
 - ア) がん化学療法看護コース
 - イ) 造血幹細胞移植看護コース
 - ウ) 緩和ケアコース
 - エ) 放射線療法看護コース
- 10) がん看護専門分野（指導者）実地研修 フォローアップ研修
- 11) がん看護領域認定看護師サポート研修（指導者）
- 12) 相談支援センター相談員指導者研修
- 13) 相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修
- 14) 院内がん登録実務指導者研修
- 15) 院内がん登録実務指導者修了者研修
- 16) 院内がん登録実務指導者継続研修
- 17) 抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師（指導者）講義研修
- 18) 抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師（指導者）実技研修

4 がん診療連携拠点病院の指定要件との関係

がん診療連携拠点病院については、「がん診療連携拠点病院の整備について」（平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知）に基づき、国立がん研究センターがん対策情報センターによる研修を修了・受講した相談員及びがん登録実務者を配置する必要があります。

相談支援センターの相談員（複数配置）については、1名は「相談員基礎研修（2）」まで修了し、もう1名は「相談員基礎研修（3）」まで修了している必要があります。また、がん登録実務者については「院内がん登録実務初級者研修」を修了している必要があります（これらの研修を修了していない場合には、指定要件を満たしていないこととなります。）。

平成25年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

※本計画表は平成25年3月15日現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成25年3月15日現在

研修名		職種	対象		指導者 養成	病院の 種類 (注1)	都道府 県から の推薦	研修 期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
			要件									都道府 県	会場名
緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修		医師	○原則として、一般病院、がん専門施設、診療所、緩和ケア病棟において、がん患者の身体症状の緩和に携わる医師としての経験が5年以上ある者。 (ただし初期研修の期間を除く)	○	③	無		年1回 2日間	64名程度	○がん対策基本法で策定された、がん対策推進基本計画における緩和ケアに関する個別目標を達成するため、各都道府県における緩和ケア教育の中心となる指導者育成のための研修。	平成25年9月28日(土)～29日(日)	千葉	クロスウェーブ船橋
精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修		医師	○医師として経験が5年以上あり、標榜する精神科・心療内科の常勤医(週4日勤務以上)として3年以上の経験があり、うち最低1年は総合病院やがん専門病院など、がん患者の診療を行う施設に勤務している者。	○	③	無		年1回 2日間	64名程度	○がん医療に携わる精神腫瘍医が精神腫瘍学に関して「知っているべき知識」と「臨床上実施すべき内容」を理解し、今後、都道府県がん対策推進計画などに基いて実施される「がん医療に携わる医師向けの研修」で教育するべき内容を理解する。	平成25年9月28日(土)～29日(日)	千葉	クロスウェーブ船橋
がん診療連携拠点病院緩和ケアチーム基礎研修		身体症状担当医師、精神症状担当医師、看護師および薬剤師を1チーム(4人)として参加	○がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームのメンバーとして実働している左記の者。	-	①②	無		年1回 2日間	各回 16チーム	○緩和ケアの提供体制の整備および緩和ケアチームの各職種が果たすべき役割と専門的な知識を習得する。緩和ケアの提供体制の整備と、緩和ケアチームの各職種の連携と協働および院内緩和ケア教育について習得する。	平成25年12月7日(土)～8日(日)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
がん化学療法医療チーム養成にかかる指導者研修		医師、薬剤師、看護師およびMSWを1チーム(4人)として参加	○主に、以下のすべてに該当し、各都道府県が推薦する医療機関において、がん化学療法チームとして勤務している医師、薬剤師、看護師およびMSW。 ①厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院のがん化学療法チームであることを原則とする。 ②がん化学療法にかかる業務に従事している医師、薬剤師、看護師、およびMSW。 ③がん化学療法にかかる教育を行っている者。 ④所属施設において、がん化学療法の充実を図ろうとしている者。	○	②	有		年2回 2日間	各回 8チーム	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、がん診療連携拠点病院と地域のがん化学療法の医療レベル向上に寄与し、がん医療の均てん化の一助とする。 ○がん化学療法医療チーム(医師・薬剤師・看護師、MSW)が施設内に新薬剤を安全かつスムーズに導入することを目的とする。	平成25年度中に2日間×2回	東京	独立行政法人国立がん研究センター
がん診療に従事する診療放射線技師指導者研修	治療コース	診療放射線技師	○以下の条件に全て該当する者。 ①診療放射線技師として5年以上15年未満の経験を有する放射線治療あるいは、診断に従事する者。 ②下記設備のうち1つを有している施設(拠点病院を優先)又は設置しようとする施設に勤務している者。 【設備】消化管検査装置、CT・MRI・RI各検査装置、高エネルギー放射線発生装置	○	②	無		年1回 4週間	8名	○放射線治療に関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学び、地域における指導者としての役割を担う。	平成25年10月7日(月)～11月1日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
	診断コース							年1回 3週間	14名	○消化管診断・乳腺診断・CT・MRI・RIのモダリティ毎に関わる基本的・網羅的な知識および技能を講義および実習を通じて学び、地域における指導者としての役割を担う。	平成25年10月7日(月)～10月25日(金)		
がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修	細胞診コース	臨床検査技師	○臨床検査業務に従事している検査技師で、病理学的検査の実務経験が3年以上、かつ細胞診検査士の認定資格を有する者。 ○臨床検査業務に従事している検査技師で、腹部超音波検査の実務経験が3年以上、かつ超音波検査士(消化器領域)の認定資格を有する者。	○	②	無		年2回 3ヶ月間	各回1名	○細胞診コースおよび超音波コースを設け、それぞれの分野において豊富な症例数での研修を行う。	平成25年10月1日(火)～12月20日(金) 平成26年1月6日(月)～3月28日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
	超音波コース								各回1名				
がん看護研修企画・指導者研修		看護師 行政担当者	○がん看護研修の企画・運営を行う者。	○	②	無		年1回 2日間	50名程度	○都道府県や各施設で実施する「がん看護研修」の企画や運営を担当する看護師が、がん対策基本法やがん対策推進基本計画に基づき、がん看護や看護師の人材育成の課題を明確にし、「がん看護研修」の立案、実施、評価を効果的に行う能力を養う。	平成25年10月17日(木)、18日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
		フォローアップ研修	○がん看護研修の企画・運営を行う者で過年度の「がん看護研修企画・指導者研修」受講終了者	○	②	無		年1回 1日間	30名程度	○がん看護に関する研修を都道府県や各施設で効果的に実施するために、「がん看護研修企画・指導者研修」を修了した看護師が、「がん看護研修」の課題を明確にし、実施・評価を行う能力を高める。	平成25年11月8日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
がん看護専門分野(指導者)講義研修	がん化学療法看護コース	看護師	○看護師経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。(実地研修受講を希望する人は必ず受講する。)	○	②	無		年1回 4日間	各コース 50名程度	○がん診療に従事する看護師が、各分野のがん看護の専門的知識と技術を習得し、所属施設において、がん患者と家族のQOL向上を目指した主体的な療養生活を支援する能力を養う。	平成25年7月23日(火)～26日(金) 4日間	東京	独立行政法人国立がん研究センター
	緩和ケアコース							年1回 4日間			平成25年9月10日(火)～13日(金) 4日間		
	がん放射線療法看護コース							年1回 3日間			平成25年7月3日(水)～7月5日(金) 3日間		
	がん患者の退院支援・在宅療法支援コース							年1回 3日間			平成25年9月26日(木)～27日(金) 平成26年1月24日(金) 3日間		

平成25年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

※本計画表は平成25年3月15日現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成25年3月15日現在

研修名		対象				都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
		職種	要件	指導者養成	病院の種類(注1)						都道府県	会場名
がん看護専門分野(指導者)実地研修	造血幹細胞移植看護コース	看護師	○看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。 ○がん看護専門分野(指導者)講義研修修了者。 ※造血幹細胞移植看護コースはがん化学療法看護コースの講義研修を受講する。 ※本研修受講者は平成28年2月28日実施予定のがん看護専門分野実地研修フォローアップ研修を受講すること。	○	②	無	年1回 2ヶ月間	1名	○がん診療に従事する看護師が、がん看護専門分野(指導者)講義研修で習得したがん看護の専門的知識と技術を用いて、がん患者と家族への看護を実践・分析することを通して臨床実践能力を高め、所属部署においてがん看護実践の指導者となる人材を育成する	平成25年11月5日(火)～12月20日(金) 2か月間	東京 千葉	独立行政法人国立がん研究センター中央病院および
	がん化学療法看護コース			無		年1回 1ヶ月間	4名	平成25年11月5日(火)～11月29日(金) 予定 1か月間		独立行政法人国立がん研究センター中央病院または東病院		
	緩和ケアコース			無		4名		独立行政法人国立がん研究センター中央病院または東病院				
	がん放射線療法看護コース			無		4名		独立行政法人国立がん研究センター中央病院または東病院				
	フォローアップ研修	看護師	○看護経験5年以上かつ専門分野経験3年以上の指導者の立場の看護師。 ○がん看護専門分野(指導者)実地研修修了者。	○		無	年1回 1日間	15名程度	○がん看護専門分野(指導者)実地研修を修了した看護師が、所属施設において、より質の高いがん看護を実践するためのリーダーシップを遂行する能力を養う	平成25年2月28日(金) 1日間	東京	独立行政法人国立がん研究センター中央病院
がん看護領域認定看護師サポート研修(指導者)		看護師	○がん領域の認定看護師(緩和ケア、がん性疼痛看護)	○	②	無	年1回	25名程度	○がん看護分野の認定看護師が、所属施設において実践・指導・相談の各役割を遂行するための自己の課題を見出し、効果的に役割を遂行する能力を養う。	平成25年12月13日(金) 1日間	東京	独立行政法人国立がん研究センター
相談支援センター相談員基礎研修(1)		相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ②医療・福祉関係の有資格者、あるいはそれに準ずる者。	-	②	無	年1回 2日間	500名程度	○臨床腫瘍学、緩和医療学、精神腫瘍学等を中心に、がん種を問わず普遍的な知識として押さえておくべきがん医療の基本的な知識を学ぶ。	平成25年5月20日(月)～21日(火)	東京	一ツ橋ホール
相談支援センター相談員基礎研修(2)		相談員	同上	-	②	無	年1回 3日間	500名程度	○各種がん・がん予防・臨床試験・アスベスト等の各論を中心に、がんに関する基本的な知識を学ぶ。	平成25年5月21日(火)～23日(木)	東京	一ツ橋ホール
相談支援センター相談員基礎研修(3)		相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ②医療・福祉関係の有資格者、あるいはそれに準ずる者。 ③相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)を受講していること。 ④病院長の推薦を受けていること。	-	②	無	年4回 2日間	90名程度	○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	平成25年7月26日(金)～7月27日(土)	大阪	新梅田研修センター
								90名程度		平成25年8月3日(土)～8月4日(日)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
								45名程度		平成25年7月5日(金)～7月6日(土)	福岡	福岡県中小企業振興センター
								90名程度		平成25年8月17日(土)～8月18日(日)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
相談支援センター相談員指導者研修		相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①所属施設が厚生労働省の指定するがん診療連携拠点病院であること。 ②がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ③医療・福祉関係の有資格者、あるいはそれに準ずる者。 ④相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)を修了していること。 ⑤平成25年度相談支援センター相談員指導者研修の全ての日程に参加可能である。 ⑥都道府県がん診療連携協議会の下に設置される相談支援に関する部会(または都道府県)の推薦を受けている ⑦病院長の推薦を受けている ⑧各地域における相談員の学習の機会を作ることへの意欲がある者。	○	①	有	年1回 3日間	30名程度	○教材づくり 事例検討を通して、事例をベースとした教材の作成方法を学ぶ。 ○ファシリテーションスキル グループワーク形式の学習場面を想定したロールプレイを通して、ファシリテーションスキルを学ぶ。 ○研修計画 事前課題(研修計画案)のプレゼンテーションを行い、さらに内容を良くするための検討を行う。	(教材づくり) 平成25年8月23日(金) (ファシリテーションスキル) (研修計画づくり) 平成25年11月9日(土)～10日(日)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
相談支援センター相談員指導者フォローアップ研修		相談員	○以下の条件の全てに該当する者 ①所属施設が厚生労働省の指定するがん診療連携拠点病院であること。 ②がん相談支援業務に携わる実務者であること。 ③医療・福祉関係の有資格者、あるいはそれに準ずる者。 ④相談支援センター相談員指導者研修を修了していること。 ⑤都道府県がん診療連携協議会の下に設置される相談支援に関する部会(または都道府県)の推薦を受けている ⑥病院長の推薦を受けている ⑦各地域における相談員の学習の機会を作ることへの意欲がある者。	○	①	有	年1回 1日間	50名程度	○相談支援センター相談員指導者研修会修了後の地域での研修会実施についてフォローアップを行う。 (プレゼンテーション・ディスカッション形式)	平成25年9月8日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
				○	①	有	年1回 1日間	50名程度	○事例を用いたグループワーク、関連領域の有識者による講義・パネルディスカッションなどを通して、がん患者が抱えている就労問題について学ぶ。	平成25年9月7日(土)	東京	独立行政法人国立がん研究センター

平成25年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

※本計画表は平成25年3月15日現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成25年3月15日現在

研修名	対象					研修 期間	募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種	要件	指導者 養成	病院の 種類 (注1)	都道府 県からの 推薦					都道 府県	会場名
院内がん登録実務初級者研修(前期A演習) ※6月～7月開催のものを「前期」と呼ぶ	職種は 特に問わない	○これから登録を始める、あるいは登録を始めて1年以内の登録実務経験者。	-	③	無	前期 A演習 年5会場 2日間	80名程度 150名程度 80名程度 200名程度 180名程度	○主要5部位(胃・大腸・肝臓・乳房・肺)のがんについて、 UICC・TNM分類等の病期分類のコーディングを行うことができ、 院内がん登録の標準登録様式などに関して十分な知識を有するレベル (1～2年程度の実務経験相当)を目標とする。 ○本研修の修了には、基礎講義(e-learning)、A演習(簡単な演習)2日間、 B演習(やや難しい演習)2日間の3課程の受講が必要となる。 ※ 初めて受講する者は、e-learningで基礎講義を受講した上、 前期のA演習から受講を開始すること。 後期はB演習のみの開催であるため、後期からの受講はできない。 (e-learningは、申込みを経てA演習受講が決定した者のみ受講可能) * がん診療連携拠点病院の指定要件にかかわる受講者は 必ず10月末日までに初級者研修(基礎講義・A演習・B演習)を修了すること。 指定要件の充足に関わる施設については、別途お問い合わせください。	前期A演習:平成25年6月11日(火)～12日(水) 前期A演習:平成25年6月18日(火)～19日(水) 前期A演習:平成25年7月2日(火)～3日(水) 前期A演習:平成25年7月9日(火)～10日(水) 前期A演習:平成25年7月17日(水)～18日(木)	東京1 福岡 東京2 大阪 埼玉	独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館 福岡県中小企業振興センター 独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館 新梅田研修センター JA共済埼玉ビル
院内がん登録実務初級者研修(後期B演習) ※10月～12月開催のものを「後期」と呼ぶ	職種は 特に問わない	○後期(B演習)は、A演習2日間を修了した者のみ対象。	-	③	無	後期 B演習 年5会場 2日間	180名程度 80名程度 200名程度 80名程度 150名程度		後期B演習:平成25年10月29日(火)～30日(水) 後期B演習:平成25年11月20日(水)～21日(木) 後期B演習:平成25年11月28日(木)～29日(金) 後期B演習:平成25年12月5日(木)～6日(金) 後期B演習:平成25年12月10日(火)～11日(水)	埼玉 東京1 大阪 東京2 福岡	JA共済埼玉ビル 独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館 新梅田研修センター 独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館 福岡県中小企業振興センター
院内がん登録実務初級修了者研修	職種は 特に問わない	○平成24年度までに、院内がん登録実務初級者研修会を修了している者。	-	③	無	年10回 1日間	各回 80名程度	○初級者研修修了者を対象に、 院内がん登録実務に関わる知識・技術の向上を目的とする。	平成25年7月28日(金) 平成25年8月2日(金) 平成25年8月27日(火) 平成25年9月5日(木) 平成25年9月18日(水) 平成25年11月28日(月) 平成25年12月3日(火) 平成25年12月18日(水) 平成26年1月17日(金) 平成26年1月23日(木)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館
院内がん登録実務中級者研修	職種は 特に問わない	○以下の条件の全てに該当する者 ①平成24年度までに初級者研修修了者。 ②医療施設で登録実務2年程度の経験、あるいは単独での登録症例数が1000例 以上の登録実務経験者。 ※平成24年度から厚生労働省が指定する「がん診療連携拠点病院」以外の医療施設 の者も受講可能であるが、「がん診療連携拠点病院」勤務者を優先して選考する。 ③施設長の推薦を有する者。	-	②	無	年4回 5日間	各回40名	○主要5部位以外のUICC・TNM分類等の病期分類のコーディングを行うことができ、 各種癌取扱い規約も十分に理解するレベル(登録実務2年以上の経験相当)を 目標とする。 ○受講に際しては選考試験を実施し、一定水準に達している者を対象とする。 ○最終日に実施する修了試験に合格した実務者に修了証書を発行する。	平成25年6月24日(月)～28日(金) 平成25年8月5日(月)～8月9日(金) 平成25年9月9日(月)～13日(金) 平成26年1月27日(月)～1月31日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:研 究所セミナールーム等
院内がん登録実務指導者研修	職種は 特に問わない	○以下の条件の全てに該当する者 ①登録実務5年以上の経験者で院内がん登録初級者研修講師として、指導できる 者。 ②初級者研修修了者。 ③施設長の推薦を有する者。 ④都道府県からの推薦を有する者。	○	③	有	年1回 4日間	10名	○中級者以上のレベルの実務者(平成25年度に限り初級者研修修了者でも可)から 指導者を育成。 ○将来的には都道府県がん診療連携拠点病院に1名以上の指導者を配置し、 がん対策情報センターが主催する初級者研修に主体的に関わるとともに、 各都道府県内での研修等、当該地域の院内がん登録に関して指導的に関われる 体制整備をめざす。 1) 実演演習(講義や演習説明の実演とその評価) 2) グループ学習 からなり、初級研修での実演演習を中心に指導力の評価・向上をめざし、 院内がん登録に関わる諸問題等に関してグループ学習を行う。 ○がん対策情報センターが主催する初級者研修での演習指導や支援を行うことで、 指導者研修を修了とする。	平成25年7月29日(月)～30日(火)、 8月22日(木)～23日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:国 研究交流会館
院内がん登録実務指導者修了者研修	職種は 特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修修了者。	○	その他	無	年1回 1日間	全指導者研修 修了者	○指導者研修修了者を対象に行う ○最新トピックス等の情報を共有するとともに、ディスカッションや情報交換から、 指導上の疑問点・問題点を解決し、地域での研修等に役立てることを目的とする。	平成25年4月28日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:国際研究交流 会館
院内がん登録実務指導者継続研修	職種は 特に問わない	○院内がん登録実務指導者研修修了者。	○	その他	無	応募者と 要相談	各回 1名程度	○講義あるいは演習指導などのスキルアップを希望する者を対象に 個別指導を行うことで、指導力を向上させることを目的とする。	日時は、応募者と要相談 研修センター内がん登録課へ お問い合わせください。	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:管理課等
院内がん登録実務導入研修	職種は 特に問わない	○これから院内がん登録を始める医療施設のがん登録関係者。 (開始1年未満の施設も含む)	-	③	無	年3回 半日	各回40名	○院内がん登録の開始を検討している施設等に、院内がん登録を始める準備等 について情報提供を行う。	日程未定 日程未定 日程未定	東京	独立行政法人国立がん研究センター内:国際研究交流 会館

平成25年度におけるがん対策情報センターの研修計画(予定)

(注1) 対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象

※本計画表は平成25年3月15日現在の予定につき、今後内容が変更される可能性があります。

平成25年3月15日現在

研修名	対象					募集定員	研修の目的・概要	開催日	開催場所	
	職種	要件	指導者 養成	病院の 種類 (注1)	都道府 県から の推薦				都道 府県	会場名
地域がん登録行政担当者研修	行政担当者	○都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員。	-	その他	無	年2回 1日間	各回60名程度	平成25年5月8日(水) 平成25年12月 (12月9日～11日のいずれか)	東京	独立行政法人国立がん研究センター 独立行政法人国立がん研究センター 内:国際研究交流会館
地域がん登録実務者研修	がん登録実務者	○地域がん登録室に勤務するがん登録実務者。 (医療機関において院内がん登録のみに携わる実務者は対象としません。)	-	その他	無	年1回 2日間	100名程度	平成25年12月 (12月9日～11日のいずれか)	東京	独立行政法人国立がん研究センター 内:国際研究交流会館
抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)講義研修	薬剤師	都道府県もしくは地域がん診療連携拠点病院を中心とするがん医療を担う施設において抗がん剤混合調製業務に従事する薬剤師(目安として入職後3年未満程度)。	○	②	有	1日間	50名程度	平成25年5月22日(水)	東京	独立行政法人国立がん研究センター
抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)実技研修	薬剤師	都道府県もしくは地域がん診療連携拠点病院を中心とするがん医療を担う施設において抗がん剤混合調製業務に従事する薬剤師(目安として入職後2年未満程度)で、抗がん剤治療調剤に携わる薬剤師(指導者)講義研修を修了したもの。	○	②	有	年間21名程度 各回6名 各施設3名 (中央病院、 東病院)※但し第1回のみ中央病院のみ	○がん対策基本法の基本的施策として養成する専門医療従事者として、がん医療に携わる全ての薬剤師が知っておくべきレジメン管理、抗がん剤投与の向上のための研修。 ○薬剤師に係るすべての行為が安全にがん化学療法を行うための必要不可欠な条件であることを直接的に理解し、その責任を再認識することとをめざします。	平成25年5月23日(木)～24日(金) 平成25年8月8日(木)～9日(金) 平成25年12月5日(木)～6日(金) 平成26年2月6日(木)～7日(金)	東京	独立行政法人国立がん研究センター